



日本マクダーミッド株式会社

〒213-0012

神奈川県川崎市高津区坂戸 3-2-1

かながわサイエンスパーク C 棟-7F

代表取締役社長 ジュリアン・ベイショア

Tel: 044-820-1180 Fax: 044-812-4485

<http://www.macd.co.jp>

プレスリリース

2014年10月16日発信

報道関係者各位

フラットトップドットを実現する『LUX® ITP』新発売

日本マクダーミッド(株)が10月16日フレキソ・ジャパン 2014 で発表

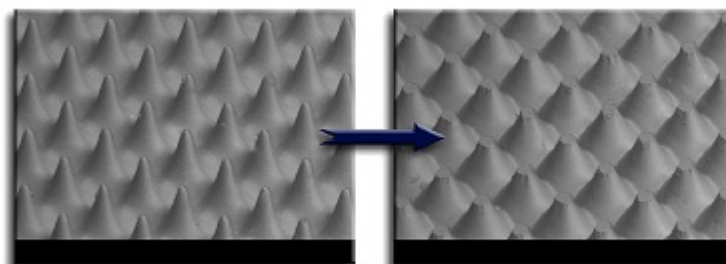
【神奈川県川崎市】フレキソ印刷用製版プロセスの世界大手製造業者であるマクダーミッド社の日本法人、日本マクダーミッド株式会社は今日、独自の製版プロセスである LUX®がより導入しやすくなるシステムとして『LUX In-the-Plate (ITP)』の発売を発表しました。

【フレキソ・ジャパン 2014】日本フレキソ技術協会(FTAJ)主催で10月16日(木)~17日(金)の2日間、東京都江東区の東京ファッションタウン(TFT)ビルで行われます。フレキソフォーラムとテーブルトップショーで構成され、日本マクダーミッド(株)はテーブルトップショーに展示を行います。

【LUX 製版プロセスとは】同社の LUX 製版プロセスは既存のデジタル製版工程に専用ラミネータ基材とメンブレン(特殊フィルム)を追加して使用するシステムです。デジタル版上のマスク(ブラックレイヤー)網点とほぼ1:1の再現が可能で、独自の酸素阻害防止効果により理想的なドット形状(フラットトップドット)が得られるのが最大の特長です。ドット形状をフラットにすることから、ドットゲインの変化が少なく安定した印刷が可能、印圧の低減により段ボール印刷においても段目痕が軽減されます。さらにデジタル版への出力につきまとうバンプカーブ設定作業も容易です。



LUX 専用ラミネータ



デジタル版

デジタル版 + LUX

フラットトップドット

【新発売の LUX In-the-Plate (ITP)】

この LUX ITP は既存の通常デジタル製版上でフラットトップドットが再現できるという画期的なプロセスで、追加のシステムやステップを全く必要としません。フレキソ印刷のクオリティをさらに向上させたいが大規模な設備変更はできないという場合には最適です。



代表取締役社長のジュリアン・ベイショア氏は、先月 12～13 日の「段ボールセミナー'14」において LUX についての講演を行いそのメカニズムを詳細に説明しました。同氏は「世界の印刷業界は今、環境保護の観点からグラビア印刷などの方式からフレキソ印刷へと移行する流れがあります。我々マクダーミッドは米国を中心に世界トップレベルのフレキソ印刷技術でマーケットを牽引しております。今回の新製品を起爆剤にマクダーミッド製品によって日本のフレキソ印刷を盛り立てていきたい」と語っています。



▽マクダーミッド社のプリンティング事業について

マクダーミッドのプリンティング部門(本部: 米国ジョージア州アトランタ)は世界大手の包装用フレキソ印刷版メーカーであり、マクダーミッド社 (MacDermid, Inc., 米国コネチカット州ウォーターベリー)の事業部の一つです。マクダーミッド本社は 1922 年設立、工業用化学品メーカー大手でありグループの従業員は全世界で 2,000 名を超えます。親会社のプラットフォーム・スペシャルティ・プロダクツ・コーポレーションは 2014 年 1 月ニューヨーク証券取引所に上場しました。(NYSE: PAH)

詳細はこちらをご参照ください。→ <http://printing.macdermid.com/>

▽日本マクダーミッド株式会社について

日本市場へは 1973 年に参入し日本マクダーミッド株式会社 (Nippon MacDermid Co., Ltd.) が 1986 年に設立され、プリンティング事業は 2003 年より開始しました。神奈川県川崎市に本社を置き、名古屋、大阪にサテライトオフィス、中国深センに現地法人をもっています。

詳細はこちらをご参照ください。→ <http://www.macd.co.jp/printing/index.html>

＜本件に関するお問い合わせ＞

広報担当: 吉野由紀

Tel: 044-820-1180 Fax: 044-812-4485 E-mail: Japan.sales@macdermid.com

本プレスリリースのダウンロード先: <http://www.macd.co.jp/pdf/pr-20141016.pdf>